

令和 6 年度事業報告 （1 号議案）

「いろいろな人が集い、交わり、みんなが楽しく暮らせるまち」の理念に基づき活動を進めている豊中駅前まちづくり推進協議会の令和 6 年度事業について報告します。

【1】 みんなで育てるまちづくり

1.1 「まちづくりニュース」や WEB サイトなどによる情報発信

- ・月刊で発行する「豊中駅前まちづくりニュース」を通して、まちなかのイベントや、毎月環境部会の活動報告など、まちの動きを発信しています。
- ・まちづくりニュースでは、新しく開業されたお店や、ユニークな商売を展開される商店の紹介を通じて商業者などをつなぎ、ネットワークの広がりを図っています。
また自転車啓発活動の案内など自転車利用者へ歩行者に優しい運転を呼び掛ける記事を重点的に掲載しました。
- ・協議会のホームページを運営し各種情報を発信していますが、より早くより多様な情報の発信が課題になっています。
- ・「まちづくりニュース」の充実を図るため、協議会メンバー以外の方々による“私が考えるまちづくり”を掲載し、様々な考えや提案などを紹介しています。

1.2 地域でのネットワークを広げる取り組み

- ・大池小学校の児童を対象に、“子どもまちづくり体験教室”を夏休み中の 7 月 30 日・31 日、8 月 3 日に開催しました。
- ・3 月 22 日に豊中駅人工デッキにおいて、多くの方々と駅前のまちづくりを考え、協議会の活動を知ってもらうため、市と共催し“まちづくりトークフェスタ”を開催しました。当日は近隣の飲食店などにも出店してもらい、連帯に務めました。
- ・スクランブル交差点から北に延びる通り(市道本町第 59 号線)で商店を営んでいる方々に集ってもらい、“通りに名前を付ける”会合を催すなど、まちの活性化に努めています。

【2】 新しい発見・感動があり、自己表現・自己主張できるまちへの取り組み

2.1 着物姿でまち歩き

- ・11 月 15 日の「きものの日」に因み、“着物姿でまち歩き”と題するイベントを開催しました

が、第3回目となる昨年は新たな取り組みとして「小俣英之助記念館」に立ち寄りました。

【3】誰もが安心して暮らせるまちへの取り組み

3.1 自転車啓発活動

- ・自転車利用者の安全走行と、歩行者の安全を図るための“自転車啓発活動”を、地元の各種団体のみなさんとともに、10月15日と22日に開催しました。
- ・1日目は自転車に関する交通ルールの勉強と、豊中駅周辺の交通規制と危険箇所の状況を実際に歩いて確認し、2日目には梅花中学・高校の生徒さんも加わって、街頭で自転車利用者への安全走行を呼びかけました。

【4】ゆっくり歩き回りたくなる居心地のいいまちを目指して

4.1 花いっぱいのもちづくり活動

- ・こもれびガーデンや銀行前などで、環境部会のメンバーが花づくりを継続しています。
- ・大池小学校の児童と、花苗を育てる活動を行っています。
- ・「花いっぱい活動」に携わる環境部会の新しいメンバーの獲得に力を入れるとともに、トークフェスタでの花苗植え替え体験の協力など、市の公園みどり推進課との連携を図っています。

4.2 まちの将来像に向けた「駅前アクションビジョン案」の検討

- ・協議会として豊中駅前の将来像を追求するため、市の再整備構想による具体検討と並行・協働し、住民や商業者などと意見交換していく“たたき台”として「駅前アクションビジョン案」の検討を進めています。